

奉祝「令和」記念事業

本年五月一日、天皇陛下の御譲位に伴い、新元号「令和」に改元されました。

新たな時代の幕開けをお祝いし益々の弥栄を御祈念申し上げます。

令和の大しめ縄の掛け替え事業

改元を記念して当分祠の大しめ縄の掛け替えを六年ぶりに実施する。製作は出雲大社神楽殿(島根)にある日本最大級の大しめ縄の制作で有名な大しめ縄なわ創作館(島根県飯南町)で現在制作中である。

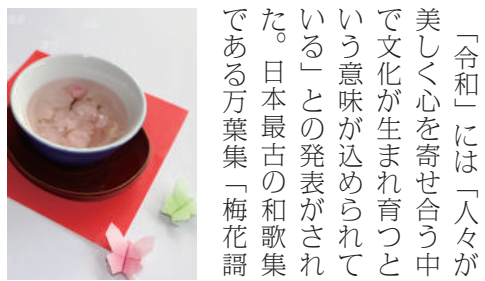
飯南町では、昭和三十一年代から、およそ六年ごとに、出雲大社神楽殿の大しめ縄の制作が行われ、特殊なしめ縄つくりの技術と伝統が受け継がれている。その巨大さから材料の稲穂も特大しめ縄製作専用の特別な赤穂が栽培され使用されている。



【出雲大社神楽殿(島根)のしめ縄】平成30年7月に製作した出雲大社神楽殿(島根県)の「大しめ縄」。の大きさは日本最大級で全長13.5メートル、重量4.5トンに及びます。一年以上の歳月と延べ千人の飯南町町民の手によって作られています。

令和の開運さくら茶

新元号を記念して、新たに秦野名産の桜を利用した開運さくら茶の製作を開始。



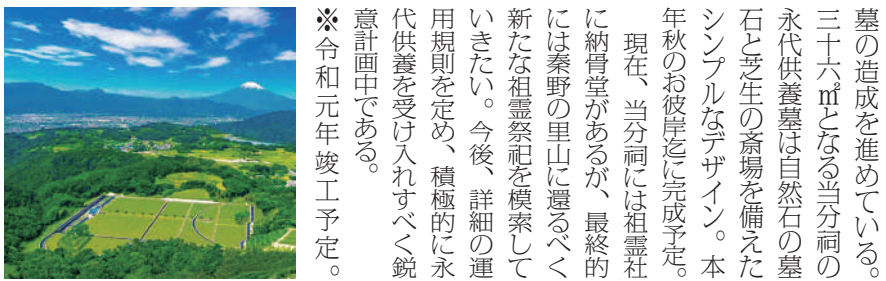
「令和」には「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められている。日本最古の和歌集である万葉集「梅花調

卅二首并序」が典拠で、「初春の令月にして気淑く風和らぎ梅は鏡前の粉を披き蘭は珮後の香を薫らす」という言葉に由来され、美しく花が咲き女性的な印象を受ける。さくら茶とは、梅酢と塩で漬けた桜の花にお湯を注いだ飲み物であり、味だけでなく見た目も楽しめる。お湯の中で花びらが開いていく様子は、縁起よく結納や出産等の慶事に重宝される。当分祠の鎮座する秦野は全国的にも有数の食用桜の生産地。毎年春には当分祠の有志信徒の協力で秦野の里山にて丁寧な桜を採取し塩漬けにして利用する。現在、秦野名産の桜を用

令和の永代供養墓の新設事業

平成三十年七月、秦野市渋沢丘陵に新たに竣工した湘南森林霊園。県西最大級の広さとなりおよそ東京ドーム十個分約二十万㎡の敷地となる。従来の墓石が建ち並ぶ霊園ではなく、秦野の自然や里山の環境になじむ樹林帯を多く配置した森林墓地となる。墓域の八割は樹木や自然芝の緑溢れるエリアとなり、公益財団法人相模メモリアルパークが事業主体である。

現在その中に当分祠専用の神道型永代供養墓の造成を進めている。三十六㎡となる当分祠の永代供養墓は自然石の墓石と芝生の斎場を備えたシンプルデザイン。本年秋のお彼岸迄に完成予定。現在、当分祠には相霊社に納骨堂があるが、最終的には秦野の里山に還るべく新たな祖霊祭祀を模索していきたい。今後、詳細の運用規則を定め、積極的に永代供養を受け入れやすく鋭意計画中である。



※令和元年竣工予定。

第二回 秦野元気まつり開催



秦野を元気づけよう！との思いから神奈川県秦野市を中心に活動をすすめる飲食店・クリエイターの集団、丹沢マルシェが企画運営して《第一回秦野元気まつり》が四月七日に当分祠を会場に開催された。今回は秦野市役所、秦野市商店会連合会、秦野市西商店会連合会、i-COOP秦野伊勢原局、出雲大社相模分祠、丹沢マルシェの六団体で実行委員会を作り、約四〇店舗の飲食店・クリエイターが参加する県西地区でも初となるであろう大規模なよさこいソーラン祭り

で、県内外から洗練された十一チーム三〇〇人が参加し華やかに賑々しく奉納演舞を披露した。よさこいソーラン祭りは、高知県の「よさこい祭り」をルーツに平成四年、よさこい祭りの「鳴子」と北海道の民謡「ソーラン節」をミックスして誕生。色とりどりの衣装を身にまとい、鳴子を手にした踊り手が、ソーラン節のメロディに合わせて演舞する。

参加チームのオリジナルティあふれる演舞が魅力で当日は午前午後休みなく奉納演舞が続けられ、約二千人近い来場客を魅了した。当日の様子はケーブルテレビでも放送され、ユーチューブでも配信されている。幅広い文化交流を通じて日本の伝統に触れたい。来以降も益々力を入れて続けていく予定であり、必見注目の行事である。

【秦野元気祭の参加団体】HADANO 乱舞「翔」・横浜旗士道・伊澤屋・猿子舞隊猿楽・舞陣・聯・聯坊童子・東海大学響・どくとんGoo de 踊らん会・躍動

【平成三十一年協賛】(順不同・敬称略) 美容室 レスポワール(株)イグミ 物産(株)斉藤衣装店・ギャラリー 由(株)タウン・デュース社・和菓子 八雲庵・杜のとうふ工房 三河屋(南)京館(南)村山藤吉商店(南)やなぎ家(南)小野印刷工業(株)アンダーンテ・手打ちそば 石庄庵・社会福祉法人進和会 南秦野保育園(株)吉良(さちお)うすびなつおら・ケーエル コーポレーションシャトレーゼ 秦野渋沢店・西湘イベント商業 協同組合・笠原 良夫 照子・はだの南レディースクリニック・崇 敬会の皆様・野口さん(名古木) 謹んで感謝申し上げます。

大花見会 復興祈願祭

四月一日午後六時より本年で七回目となる出雲大社相模分祠恒例の大花見会が斎行された。当日あいにくの雨の中であるが隣接出雲記念館にて開催。平成二十三年の東日本大震災を受けて、チャリティの花見会を開催し、その収益を宮城県名取市にある閉上(ゆりあげ)地区湊(みなと)神社の復興支援として寄付している。大花見会に先だって十七時三十分より、御社殿にて草山清和分祠長齋主の下、東日本復興祈願祭を斎行した。

花見客共々に心一つに、一日も早い被災地域の復興をお祈りした。

